

MEGUMI HARADA SOPRANO RECITAL

岸 純信 Suminobu Kishi / オペラ研究家

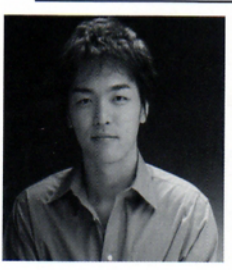
1963年生まれ。オペラ研究家。19世紀フランスとイタリアの演目を中心に音楽雑誌や新聞に寄稿、公演プログラム、CD・DVD等の解説も手掛け、テレビ&ラジオ、トークショー等にも出演。共著書『栄光のオペラ歌手を聴く!』、翻訳書『マリア・カラスという生きかた』など。

自分で自分を磨ける人 — ソプラノ原田恵の歌を聴くたびに感じる個性である。グノーの珍しいアリアの演奏を託した際、フランス語の発音を含め、実に緻密に準備する姿に、その思いをいっそう強くした。彼女の一途さは、「良き師と巡り合う」道のりにも明らか。一念発起してイタリアに留学し、焦ることなく勉強を続けた原田は、ベルカントオペラの名手レッラ・クベリから内弟子同様に教えを受け、コンクールに入賞という快挙を成し遂げる。そして、帰国後は尾崎美穂女史の指導を仰ぎつつ、さらなる研鑽を積む彼女、初リサイタルで、その濃く鮮やかな声音が人柄のままにまっすぐに響き渡る瞬間を、今から待ち望んでいる。



原田 恵 Megumi Harada / ソプラノ www.megumi-harada.com

’99年聖心女子大学文学部卒業 ’99年11月渡伊。レッラ・クベリ女史に師事。
 イタリア各地にてコンサート活動開始 ’03年5月リッカルド・ザンドナイ国際音コンクール入賞
 ’04年1月ミラノ・ロゼトゥム劇場新人オーディション合格 ’04年5月帰国
 ’05年3月皇室高円宮妃殿下主賓、六本木グランド・ハイアットホテル主催スマトラ沖地震被害者支援
 チャリティーコンサート出演 ’05年9月大和カルバリーチャペル 礼拝賛美コンサート
 ’05年9月日本財団主催コンサート「19世紀のフランスと世界のオペラ」出演
 ’06年5月VIP武蔵小杉 賛美コンサート ’06年9月大和カルバリーチャペル 礼拝賛美コンサート
 ’07年全日本演奏家協会主催レディース名曲コンクール白薔薇賞受賞



竹内 功 Isao Takeuchi / ピアノ www.takeko.net

桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。パリ・エコール・ノルマル音楽院ディプロム取得。
 幼少の頃より「全日本学生音楽コンクール」等のコンクールに優勝・入賞し、名古屋フィルハーモニー他とも共演。
 2000年に奨学金を得てイタリアに短期留学。帰国後に記念リサイタル、2003年にもリサイタルを行った。
 また、2004年に行ったデュオリサイタル「ラフマニノフの夕べ」では自身が企画構成、
 名古屋公演ではトークも交え、好評を博す。> 2005年には「コンチェルトの夕べ」にてセントラル愛知交響楽団と共演
 ピアノ連弾編曲版を日本初演。これまでにジョン・健・ヌツォ、岡本知高、ヘイリー・ウェステンラ等
 と共演の他、オペラの音楽スタッフとして国内外の著名な指揮者、声楽家と共に公演に携わる。
 昭和音楽大学、新国立劇場オペラ研修所各講師。二期会オペラ振興会ピアニスト。



山崎 真 Makoto Yamasaki / ピアノ

兵庫県出身。相愛大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学演奏助手、関西歌劇団のピアニストを勤めた後、2005年笹川日仏財団奨学生でパリ・シャトレ座に留学。サビーヌ・ヴァタン女史より歌曲伴奏法、コレペティトウアを学ぶ。中国・四川音楽学院より招かれ、夏期音楽講習会の公式伴奏者を務める。第137回日本演奏連盟推薦新人演奏会で円光寺雅彦指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団と共演。「大阪クラシック」で大植英次氏とピアノ連弾で共演し、バーンスタイン「管弦楽の為のディヴェルティメント」ピアノ連弾編曲版を日本初演。これまでにジョン・健・ヌツォ、岡本知高、ヘイリー・ウェステンラ等と共演の他、オペラの音楽スタッフとして国内外の著名な指揮者、声楽家と共に公演に携わる。昭和音楽大学、新国立劇場オペラ研修所各講師。二期会オペラ振興会ピアニスト。

JTアートホール アフィニス

銀座線「虎ノ門駅・3番出口」外堀通りを溜池山王方面へ徒歩4分
 鉄線産・南北線「溜池山王駅・9番出口」外堀通りを虎ノ門方面へ徒歩5分

宗次ホール

地下鉄栄駅 ⑫番出口より徒歩5分
 名古屋駅よりタクシーで約20分 (料金: 約1,200円)